



2021年2月26日

(以下は Cullgen Inc. による英文プレスリリースの日本語訳です)

Cullgen、標的タンパク質分解剤と新規 E3 リガンドプラットフォーム開発を進めるため、シリーズ B 投資 5,000 万ドルを調達

カリフォルニア州サンディエゴに本社を構え、標的タンパク質分解技術（独自の uSMITE™プラットフォーム）に基づく低分子治療薬を開発しているバイオテクノロジー企業である Cullgen Inc.（以下、Cullgen という。）は、2021年2月25日付で5,000万米ドルのシリーズ B 投資の資金調達（ワラントによる行使を前提）を完了したと発表しました。

既存株主に加え、著名なグローバルベンチャー・キャピタルである 3E Bioventures Capital、CIV Investments, Inc. c/o Heights Capital Management (Susquehanna International Group の関連会社)、Octagon Capital、MSA Capital、South China Venture Capital の 5 社も本出資に参加しており、調達した資金は、Cullgen のテクノロジープラットフォーム開発とがん領域の標的タンパク質分解技術パイプラインに活用されます。また、Cullgen は 3E Bioventures の Frank Yan 氏が取締役就任することを発表いたしました。

Cullgen の会長兼社長であるイン・ルオ博士は、次のように述べています。「今回の新たな資金調達に対し、投資家からは多くの関心が寄せられました。Cullgen をワールドクラスの標的タンパク質分解技術の企業であると確信した、著名なベンチャー・キャピタルから出資を受けられたことを光栄に思います。当社はがんをはじめとする疾患領域の最も進んだプログラムである、TRK タンパク質分解剤「CG001419」を 2021 年後半に IND 申請する予定です。今回の調達資金により、本プログラムをはじめ、他の前臨床分解プログラムを臨床研究に発展させることが可能となります。また、標的タンパク質分解の将来は、新規 E3 リガンドの使用にあると考えており、本調達資金により、新しい E3 リガンドの新規パイプラインの発見と最適化を継続することができます。」

Cullgen について

Cullgen は、有効な治療アプローチを欠く疾患治療のための画期的な新規化学物質（NCE）を開発するバイオ医薬品企業です。最近のタンパク質分解科学の進歩を踏まえ、独自の技術プラットフォームであるユビキチンを介した低分子標的除去技術の標的タンパク質分解技術（uSMITE™）の開発を行っています。

通常、薬剤はタンパク質の機能部位と相互作用し、活性化を阻害するように設計されています。これに対し、Cullgen が開発した uSMITE™は機能部位阻害にとどまらず創薬パラダイムを広げ、これまで新薬の開発につながらないような酵素やタンパク質を標的破壊により排除できるようにしています。また、すべての細胞でタンパク質分解を制御する多段階生化学プロセスであるユビキチン・プロテアソームシステムを生かすために、uSMITE™技術を活用したいと考えています。プロテアソーム系に関する長年の研究とその組み立てに関する重要な発見の結果、Cullgen の創立者は、基礎となる技術が非常に強力かつ選択的で生物学的に利用可能な多数の化合物を迅速に生成できることを実証しています。さらに、このプロセスは、従前に比べ費用効果の高い創薬アプローチです。

(詳細は www.cullgen.com (英語サイト) をご覧ください。)

以上